

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

日本・アジアにおいて、PRを起点にデータを活用して広報PR、経営、マーケティング領域の課題を解決するコミュニケーションコンサルティング・グループに進化する。

自己資本比率
76.5%

自己資本利益率
9.0%

② 中長期の経営戦略

1. コア事業拡大

ヘルスケア、IT、サステナビリティ、危機管理広報など専門性の高いコンサルティングサービスの提供。経営領域、マーケティング領域での提供サービス拡充。

3. 人材強化

専門性を有する優秀人材の確保。研修、人事交流など多種多様な経験を通じた育成機会の創出。

2. 新規事業拡大

AIやデジタルサービスの拡充。中国、東南アジアでの提供サービス拡充と展開地域拡大。

4. 経営力強化

生産性向上のためのテクノロジー活用。人的リソースの適正配置推進。多様な働き方への対応。

③ 対処すべき課題

① コミュニケーション課題の多様化

- ・企業を取り巻くコミュニケーション課題の多様化・複雑化への対応
- ・デジタル分野で広告とPRの垣根が低くなり競合が多様化
- ・従来のPR会社の枠を超えた解決策提案が必要

② サービス領域の拡充

- ・訪日外国人誘致、海外クライアント向けPR、アジア進出支援
- ・IR、HR関連コミュニケーション強化。ブランディング、セールスアクティベーション支援強化

③ 人材確保と働き方対応

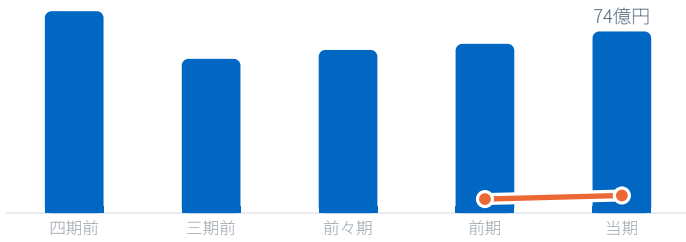
- ・優秀人材の獲得・育成を通じたプロフェッショナル集団への進化
- ・社員エンゲージメント向上、市場競争力のある給与水準実現

面接で使えるポイント

- ・PRを起点にデータを活用し、広報・経営・マーケティング領域の課題を解決するコンサルティング企業。
- ・ヘルスケア、IT、サステナビリティなど専門性の高いサービスと、中国・東南アジア進出支援など国際展開が強い。
- ・自己資本利益率9.0%を達成しつつ、AI・デジタル投資と人材育成を重視し成長を加速させている。

証券コード 2449

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
74億円営業利益率
9.7%財務健康度
76点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 51.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
662万円

サービス業内 170位/524社

平均年齢
36.3歳

サービス業内 349位/527社

平均勤続
8.7年

サービス業内 183位/527社

女性管理職
43.8%

サービス業内 41位/371社

男性育休
75.0%

サービス業内 160位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

